

行事予定表		
1	金	
2	土	
3	日	
4	月	交通安全教室（4・5歳児）
5	火	ピヨピヨ
6	水	役員会
7	木	
8	金	
9	土	
10	日	
11	月	山の日
12	火	
13	水	希望保育
14	木	希望保育
15	金	希望保育
16	土	
17	日	
18	月	体操
19	火	避難訓練
20	水	
21	木	誕生会/読み聞かせ14:00~
22	金	
23	土	
24	日	
25	月	体操
26	火	
27	水	ふたばっこ祭り①（にじ・ひかり・ほし・だいち）
28	木	ふたばっこ祭り②（たいよう・そら）
29	金	
30	土	
31	日	

夏休み前から真夏日が続いた。
夏の太陽がカッと照り
入道雲がモクモクと上り、夏休み。



ひまわりが見上げるばかりに育ち
朝顔もつるを伸ばし咲き始めた。
ふたばっ子は、もう真っ黒。

夏の思い出と体験を体いっぱい蓄え
大きく成長して、九月を迎えて欲しい。
この暑さと大統領は異常。
健康と安全に十分に注意して下さい。



理事長 浅田 精利
あさだ きよとし

今月の予定から・・・

●交通安全教室（4日）

・今回は防犯について教化員の方に教えて
いただきます。また、今月より、4歳児（き
りんグループ）も参加しますよ。

●ピヨピヨひろば（5日）

・地域の子育て支援「ピヨピヨひろば」と
して、月1回設定保育を実施しています。
園開放も行っていますので育休中の方も
どうぞ遊びに来て下さい。

●希望保育（13～15日）

この3日間は希望保育となり、事前に希望
を出された方のみのお預かりとなります。
また、この3日間はお弁当になりますので、
当日の持ち物などは利用希望者に配信い
たします。

●避難訓練（19日）

・毎月の避難訓練で、地震・火事等を想定
して命の大切さや避難の仕方を学びます。

●誕生会（21日）

・1年に1回誕生児にとって大切な日を
「おめでとう！」と心からお祝いします。
※誕生児の保護者の方は誕生会の見学が可能
ですので、ご希望の方は、お知らせ下さい。

●読み聞かせ（21日）（ぞうグループ）
14時～

・今月も牛久市の幼児教育アドバイザーの
先生方の読み聞かせがあります。子どもた
ちも楽しみにしていますよ。

●ふたばっこまつり

27日（にじ・ひかり・ほし・だいち）
28日（たいよう・そら）

・秋祭りに向けてたくさんお祭りごっこを
楽しめますよ。当日お手伝いいただける方
はお声がけください。この他にも出店ごっ
こなどをたくさん楽しんでいきますよ！

※ふたばっこサマー2025の日程です
が、後日お知らせいたします。

「まてまて〜が楽しい！」



ある日の保育園での様子。1歳児の子が廊
下を行ったり来たり。とても得意げな表情で歩
いていました。それに気づいた担任が安全を確
認した上で、「まてまて〜！」と声をかけて後を
追いかけます。さあ、鬼ごっこのはじまりで
す！…とはいっても、この年齢の子どもたちに
とっての鬼ごっこは、私たち大人が思い浮かべ
る「逃げる子を捕まえる」ものとは少し違いま
す。歩くことが上手になってきた今だからこそ、
「まてまて〜」と呼びかけられることで生まれ
る距離感や間合い、そしてふれあい自体を楽し
む「遊び」なのです。追いかけれ、走り出す
のが楽しくて、何度も振り返る子どもたち。「キ
ャー！」と声をあげて嬉しそうに走り出し、ま
た振り返っては「もう一回！」と言いたげな表
情を見せます。そんなやりとりが15分ほど続き、
満足した子どもたちはまた次の遊びへ向かっ
ていきました。ただの行ったり来たりではここ
まで楽しむことはできません。子どもが今どの
ような発達段階なのか、何に興味があるのかを
キャッチして、どこに面白みがあるか発見し、
面白さを求めた結果の「まてまて〜」だったか
らこそ、そこに楽しい遊びがうまれたのです。
何度も繰り返すほどの楽しさ…。大人はつい
「もうおしまい…！」と思ってしまいがちです。
たまには子どもの気持ちになって、遊び心を胸
にお子さんと一緒に遊んでみてはいかががでし
ょうか？



「すいかのおとうさん・おかあさん」

玄関先の廊下にクラス担任が掲示してある
ので、「存じの方もいらっしゃるかと思います
が、今年度、ぞうグループ（5歳児）ではスイ
カを育てています。5月に苗を植えたとき、子

どもたちはわざわざ事務室まで「すいかを植え
たよ！」と報告に来てくれました。私が「みん
なは今日からすいかのお父さんとお母さんだ
よ。毎日様子を見て、お世話してあげてね」と
声をかけると、子どもたちは顔を見合わせ、「お
父さん？お母さん？」とちょっと照れたよう
な、でも嬉しそうな表情を見せてくれました。
その日から時々2階テラスの畑を見に行くと、
担任と子どもたちが草むしりをしている姿が
あったり、大切に育てたすいかがカラスに食
られてしまった際は、そのことをみんなで話
合う姿が見られ、「食べられないようにカパー
をかけよう」「カラスもお腹が減っているから
仕方ないよね」「カラスと友達になって「食
べないで」とお願いする」などなど…子どもたち
で話し合いを重ねながら試行錯誤する中です
いかを大切に思う気持ち、カラスの気持ちも考
えられる優しい心も芽生えたようです。赤いす
いかが収穫できたときは、歓喜の聲が上がって
いましたよ。

ふたばランド保育園の理念に次のような言
葉があります。

「たくましく 大地に根をはれ

ふたばっ子」

幼児期は“根っこ”を育てる大切な時期。目
には見えない部分ですが、つつしが丘ふたばラ
ンド保育園の子どもたちは日々の体験を通し
て、しっかりと根を張っています。すいかの栽
培を通して、「すいかのお父さん・お母さん」も
たくましく、こころの畑にぐんぐん根を伸ばし
ていることでしょう。



園長 沖本 恭大
おきもと きょうた

